

仕様書案説明書

下記のとおり調達物品の仕様書案の作成が完了したので、仕様書案に対する意見を招請します。

記

1. 調達内容

- (1) 購入物品及び数量 六ヶ所フュージョンエネルギー研究所で使用する電気 一式

2. 意見の提出方法

- (1) 意見の提出期限 令和8年9月25日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）
(2) 提出先 〒263-8555 千葉市稲毛区穴川4-9-1
 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
 財務部契約課 下福 真治
 電話 043-206-6262 FAX043-251-7979
 E-mail:nyuusatsu_qst@qst.go.jp
(3) 提出部数 1部

3. 仕様書案の説明会

- (1) 日時 令和8年9月14日（月） 15:00
(2) 場所
 〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字表館2-166
 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 六ヶ所フュージョンエネ
 ルギー研究所 管理研究棟1階 緊急時対応室
 なお、参加を希望する場合は、必ず添付の参加申込書を提出すること。

4. 入札公告予定時期 令和8年10月下旬

5. その他

- (1) 意見の提出、照会は、添付の様式にて提出すること。
(2) 提出のあった意見に対して、当方より質問する場合があるので意見提出の場合は、連絡窓口（住所、所属、氏名、電話番号、メールアドレス）を明記すること。

6. 添付書類

- (1) 仕様書案説明会参加申込書
(2) 意見提出用紙
(3) 仕様書（案）

以上

**「六ヶ所フュージョンエネルギー研究所で使用する電気」
仕様書案説明会参加申込書**

連絡担当窓口	企業等名称	
	(ふりがな) 氏名	
	所属部署名	
	所在地	
	電話番号	
	FAX番号	
	E-mail	
参加者氏名等	参加場所	① 千葉 ② 六ヶ所
	参加人数	(名)
	参加者氏名 ①	
	参加者氏名 ②	
	参加者氏名 ③	

※仕様書案説明会の参加者は、事前に参加登録された者のみとします。したがって、参加を希望する場合は、必ず本申込書を提出期限までに下記契約担当までご提出ください。

提出期限: 令和8年9月11日(金) 12:00(必着)

提出方法: Eメール添付により提出すること。

(提出先)

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

財務部契約課 下福 真治

E-mail: nyuusatsu_qst@qst.go.jp

FAX: 043-251-7979

TEL: 043-206-6262

仕様書案に対する意見

件名	六ヶ所フュージョンエネルギー研究所で使用する電気
----	--------------------------

法人名：	
所属部署：	
氏名：	
電話番号：	
E-mail：	

No.	意見の内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	

六ヶ所フュージョンエネルギー研究所で使用する電気
需給仕様書
(案)

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
六ヶ所フュージョンエネルギー研究所
管理部 工務課

1. 件名

六ヶ所フュージョンエネルギー研究所で使用する電気

2. 概要

- (1) 需給概要 六ヶ所フュージョンエネルギー研究所の中央受電所に電気を需給する。
- (2) 需要場所 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（以下「QST」という。）
六ヶ所フュージョンエネルギー研究所
青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字表館 2 番地 166
- (3) 業種及び用途 研究所 電灯需要及び動力需要

3. 契約期間

自 令和 9 年 4 月 1 日 0 : 00
至 令和 10 年 3 月 31 日 24 : 00

4. 仕 様

- (1) 供給電気方式、供給電圧（標準電圧）、計量電圧（標準電圧）、標準周波数及び受電方式

(ア) 供給電気方式 交流 3 相 3 線式

(イ) 供給電圧（標準電圧） 60,000 V

(ウ) 計量電圧（標準電圧） 60,000 V

(エ) 標準周波数 50 Hz

(オ) 受電方式 本線及び予備線

（予備電線路により供給する場合は、常時利用変電所から常時利用
と同位の電圧を供給すること。）

- (2) 契約電力及び予定使用電力量

(ア) 契約電力 常時電力 4,250 kW

予備電力 4,250 kW

（契約電力とは、契約上使用できる電気の最大電力をいい、計量器により計測された値が原則
としてこれを超えないものとする。また、予備電力とは、常時供給設備等の補修、又は事故
により生じた不足電力の補給にあてるため、常時供給変電所から予備電線路により常時供給
電圧と同位の電圧で供給すること。）

(イ) 予定使用電力量 16,487,000 kWh

（予定使用電力量の内訳は別紙－1 のとおり。）

- (3) 電力量等の検針

自動検針装置 あり

電力会社の検針方法 自動検針

計量器構成 計器定数 1,000

パルス定数 50,000

(4) 需給地点

需要場所に QST が施設したガス絶縁開閉装置のブッシング端子と東北電力ネットワーク株式会社の架空引込線との接続点とする。

(5) 電気工作物の財産分界点

需給地点に同じ。

(6) 保安上の責任分界点

需給地点に同じ。

5. その他

(1) 力率は、契約期間中 100% を保持する予定である。

(2) 非常用自家発電設備を有しており、構成は以下のとおり。ただし、非常用専用であり系統連系はしていない。

(ア) ディーゼル発電機、容量：300 kVA × 1 台

(イ) ディーゼル発電機、容量：210 kVA × 1 台

(3) 太陽光発電設備は有していない。

(4) フリッカ発生機器等電気の質に影響を与えるような負荷設備は、特に有していない。

(5) 力率の変動、その他の要因による電気料金の調整及び仕様書に定めのないその他の供給条件については、東北管内のみなし小売電気事業者が定める特定規模需要標準供給条件による。なお、入札価格の算定に当たっては、力率は 100% とし、燃料費調整額及び再生可能エネルギー発電促進賦課金は考慮しないこと。

(6) 本仕様書に記載されている事項及び記載のない事項について疑義が生じた場合は、QST 担当者と協議の上、その決定に従うものとする。

以上

令和9年4月～令和10年3月 月別予定使用電力量

六ヶ所フュージョンエネルギー研究所

月	契約電力 (kW)	電気使用量(kWh)		
		夏季	その他季	合計
4月	4,250		1,328,000	1,328,000
5月	4,250		1,370,000	1,370,000
6月	4,250		1,471,000	1,471,000
7月	4,250	1,495,000		1,495,000
8月	4,250	1,456,000		1,456,000
9月	4,250	1,000,000		1,000,000
10月	4,250		1,214,000	1,214,000
11月	4,250		1,352,000	1,352,000
12月	4,250		1,437,000	1,437,000
1月	4,250		1,485,000	1,485,000
2月	4,250		1,408,000	1,408,000
3月	4,250		1,471,000	1,471,000
合計		3,951,000	12,536,000	16,487,000